



中村邦子代表

女声合唱団 コーラス四季

昭和61年結成。音楽(合唱)の輪を広げていくことを目的とし、ステージ活動やボランティアコンサート、2年に1度の自主公演を開催。現在会員34名。



樋口雅会長



小林民子さん



佐藤勇治さん



及川良子さん



工藤隆資さん



井上泰子さん



柳原孝一さん



佐藤幸子さん



この喜びは
家族の支えのおかげ



男声合唱団 コールマイゼン

昭和23年結成。コールはドイツ語で合唱、マイゼンは四十雀(シジュウカラ)。結成当時のメンバーがおおむね30歳代だったため、40(歳)からと四十雀をかけて命名。現在会員50名。

ステージに立つ感動と

のご支援などはいかがですか?
柳原 昨年怪我をしたメンバーがいて、落ち込んでいたのですが、彼の奥様が励まし、練習への送迎をしてくれたおかげでステージに立つことができましたよ。妻の支えは大きいです。また、女性は譜面を外してステージに立つグループが多いが、私達には絶対できない。女性の努力はすごいと思います。
井上 ステージに立つ以上、恥ずかしいことはできないというプライドをもってやっています。ところで、夫が間もなく定年ですが、男性は定年を迎えると元気がなくなると言われています。どうしたら退職後も元気でいられますか。夫にも頑張らせた(笑)。
柳原 男性は仕事人間だからね。でもなにか興味のあることはあるはず。それを見つけてあげてはどうでしょう。
佐藤幸 主人は退職後、週に2回病院でボランティア活動をしています。今までの仕事に関係のない仕事に携わりたくて、広報紙を探しました。自分の世界が広がり、いきいきしながら通っています。全く趣味が違うので、私は干渉しませんし、されません(笑)。
佐藤勇 趣味を持つと仲間ができます。対話が生まれ、脳の活性化にもつながりますよ。

中村 男性はプライドがあるのか、自分自身でコミュニケーションをとるのが苦手。企業戦士で過ぎてきたために趣味を育てる時間もなくて、定年後に何をしたらいいのか迷い、引きこもってしまうのでは。その点、女性はいきいきしていますよ。男性にもその楽しさを分けてあげたい(笑)。
樋口 積極的に求めないのが男なんです。男は肩書きで生きてきましたから。
工藤 私は62歳で山形に戻ってきましたが、そのとき定年後の三本柱(走ろう会・公民館での娯楽・コーラス)を描きました。それぞれに仲間がいて、感激を味わっています。
柳原 退職までは、地域活動は全て妻がしていました。私はご近所の方の顔すら分からず、退職後これほどまでに地域のことから分らないのかと愕然としましたよ。家事や地域活動について、妻とのバランスをもう少しとればよかったです(笑)。
工藤 地域活動はできる範囲で頑張っています。趣味は違って当然。我が道を行こうです。妻は絵手



司会・記事 今野久子

男女のかかわりを話そう!

コールマイゼンは、結成62周年という長き歴史を持つ男声合唱団。全国的にも貴重な存在だという。一方、コーラス四季は、昨年結成25周年を迎えた。会員の3分の2が結成当初からのメンバーという。週1回の練習を重ね、コンサートを開き、市民に感動のひとつときを与えつつける原動力とはいったい何なのであろう。コーラスの持つ魅力や、皆さんの家庭、地域の中における男女共同参画の実態を探るべく、アンケート調査を行った後、代表の方にお集まりいただき座談会を開催し、思いのままをお話していただいた。
司会 今日は大雪の中、座談会にお集まりいただきありがとうございます。また、事前アンケートにお答えいただいた皆様にも感謝申し上げます。コーラスに思いを寄せられている皆様のお気持ちが変わり、以前にも増して心ひきつけられる思いです。皆様には、今日に至るまでの思いなどをお話していただきたいと思えます。まずは入会のきっかけなどからお願いします。
樋口 学生の頃、コール・マイゼンの練習会場に居合わせて「男性だけの合唱っていいなあ」と感じ入会しました。50年は続いています。妻も趣味が同じで、合唱のグループに入っています。
佐藤勇 子どもが小学生のとき、樋口先生(コール・マイゼン樋口会長の妻の指導する合唱部に入り、東北大会に出場しました。そこで樋口先生から入会を勧められたのがきっかけです。ちょうど40歳のときです。若かったですよ(笑)。
柳原 後輩より勧められ35年になりました。入ったら楽しくて楽しくてね。馬鹿

を重ねていますよ(笑)。
工藤 全国をまわる転勤族で、平成12年に山形に戻りました。一年後にすでに入会していた高校の同級生に勧められました。歌はもともと好きでしたが、コーラスは未経験でした。
中村 私達はようやく昨年25周年を迎えたところです。結成当初のメンバーが3分の2在籍していますが、ここにきて会員の和がとて大切であると感じています。週に一回の練習日が待ち遠しく宝物のような。健やかに長く続けていきたいですね。
井上 米沢から参りました。高校時代より歌い続けていて、主人の転勤の先々でコーラスに魅力を感じ、歌ってきました。
小林 主人が定年を迎えてから送迎をしてもらっています。今日も送って来てもらいました。あたり前と思っていたのですが、今日改めて家族の協力に感謝しています。
及川 知人より紹介されて見学し、即入会しました。15、6年になります。居心地がよく、水曜の午前中2時間は一週間の要になってます。練習のあとのティータイムも楽しんでいます。
佐藤幸 子どもが小さいときからPTAコーラスに通い、樋口先生(樋口会長の妻)にも指導していただきました(一同驚き)。子どもの卒業とともに合唱は出ないのかと思っていました。が、ひよんなどころで高校の同級生の及川さんと再会し、入会を勧められました。では

コーラスの魅力は、皆さんどんなところに感じますか?
樋口 演奏会を聴いて自分もやってみたいのことで、今年初めての練習日に3名の方が来て入会してくださいました。男性だけのハーモニーって、なにか響くものがあるんでしょうね。声が出ると、ソクゾクつとしますね。
井上 女性は家事や育児に追われ、自分と向き合う時間がない。でも練習の2時間は「私」と「音楽」に向き合える、自己表現できる大切な時間なのです。送迎してくれる夫のことも忘れて(笑)。女性にはこういう場が少ない。だからみんな長く続けられるのだと思います。
樋口 そういう時間があるって幸せですよ。私の妻も楽しそうに出て行って、なかなか帰ってこないよ(笑)。
及川 母親の介護の時期もありましたが、水曜日はデイサービスをお願いして、自分の時間にあてていました。救いの時間でした。
佐藤勇 唇に歌を、心に太陽を。ハーモニーは人の心を繋いでくれます。私は地区の敬老会に自作の歌詞カードを持って行き、みんなで一緒に歌ったり、高齢者専用住宅や親子の会などでも歌ったりしています。
中村 私達も単身高齢者の方々のサロンの場で一緒に歌わせていただいておりますが、熱心に聞いて下さる方がおられると励みになります。
司会 皆さん、歌を地域づくりにもつなげて、活動されているんですね。ご家族